

世 界 理 解 月 間

2 月 1 4 日 9 0 5 例 会

本日の行事

夜間例会 『会員慶祝』
『卓話』 インターアクト地区協議会報告
担当 = インターアクト委員会
場所 : シルクホテル 点鐘 18 : 30 pm

例 会

- 1 . 点鐘
- 2 . ロータリーソング「それこそロータリー」
- 3 . ビジター紹介
- 4 . 会員慶祝
誕生日...細川仁司君 22.2.11
結婚記念日...小林糸子さん 35.2.16 久保田久次君 43.2.18
竹村英二君 46.2.28
一年間 100%出席...久保田久次君 尾澤隆君
- 5 . 会長挨拶
- 6 . 幹事報告
- 7 . 出席報告
- 8 . ニコニコ BOX 及び米山記念奨学会、ロータリー財団報告
- 9 . 委員会報告
- 10 . 本日の行事 卓話
- 11 . 点鐘

おしらせ

文書受信のご案内

- [ロータリーの友委員会] ロータリー手帳お買い上げのお願い一部 6 3 0 円
- [ロータリーの友事務所] 「友」インターネット速報 219
- [株)クマヒラ・株)熊平製作所] 「抜萃のつづり」送付
- [N P O 法人飯田ボランティア協会] 福祉映画「火火」(ひび)試写会のご案内
- [飯田社会福祉協議会] 第 4 9 回飯田市社会福祉大会への出席について 2 / 28(火)

例会変更のご案内は後ページ

平成 18 年 2・3 月の飯田東 R C の例会案内

1. 2 / 19 下伊那グループ I M 会場=マリエール
2. 2 / 21 特別休会
3. 2 / 28 クラブフォーラム I M 報告 担当 = 会長・幹事
4. 3 / 7 クラブフォーラム 次年度委員会構成発表 担当 = 次年度会長・幹事

- 本日の Menu -
ちらし寿し・小鉢・フ茄子のピリとわかさぎの南蛮漬け・みそ汁・香の物

前例会記録 - No. 904 - 2月7日(第1火)

会長挨拶

幹事報告

1. ローター手帳の注文がきております。購入されます方は一冊630円となっておりますので事務局までお願い致します。締め切りは2/25までとなっております。
2. 訃報が届いております。豊山-城北RC現会員の岩田桂治様享年69歳。2/3 告別式となっております。当クラブからは弔電を打たせて頂きました。
3. ご連絡が遅くなりましたが、次年度より地区の委員の要請があり当クラブから2名を推薦致しました。

ロータリー米山記念奨学会委員宮澤眞君

新世代活動委員会インターアクト委員会委員細川仁司君

4. 日程についてですが

2/14(次週)は夜間例会となっております。

2/19 IM開催。マリエールにて

2/21は特別休会となります。

本日の例会				前々例会		
会員総数	出席計算数	欠席者	出席率	メイクアップ	欠席	訂正出席率
37	31	4	87.1%	5	0	100%

本日の欠席者 小林糸子さん、座光寺透君、下田一則君、竹村英二君

[出席免除] 宮内孝君、林隆夫君、宮澤宏君

【本日のビジター1名】 飯田南RC中島清様

本日のニコニコBOXの合計は26,000円。累計1,021,500円です。

ニコニコボックス

(岡谷エコーRC)

林太一様：岡谷エコーロータリークラブより来ました。

よろしくお願い致します。

(飯田南RC)

中島清君：お世話様になります。

(飯田東RC)

斉藤映君：朱さんを歓迎して。

後藤高一君：米山奨学生朱海英さんようこそ。

カウンセラー林様本日はありがとうございます。

細川仁司君：インターアクトクラブ地区協議会が無事終わりました。

お世話になりました。

松下英一君：昨日PM11:00より雪掻き。今朝6:00より雪掻き...腰痛だ！

年齢はごまかせんな。

佐々木治君：雪掻きで疲れしました。豪雪地方のご苦労が良くわかりました。

- 伊藤篤君：又、雪です！早く春が来るといいですね。
- 古林克己君：朱海英さんいらっしゃい。卓話楽しみにしています。
大変な雪ですが、これで竜東方面の井戸枯れは解消するのでしょうか？
夏の水不足が心配ですね。
- 米山祥一君：大雪ですね。入り口で落雪を受けビックリ。下も上も気をつけないと。
朱さんの卓話に期待して。
- 矢澤昭彦君：今年度初の大雪で早朝から雪掻きに疲れしました。
この悪天候の中、米山奨学生の朱海英さん、カウンセラーの林太一様遠方よりご来訪ありがとうございます。卓話を楽しみにしております。
- 中田忠夫君：先週の火曜日の夜から今朝6時前からの雪掻きまで、充実した一週間でした。朱さん、林さん雪の中ご苦労様です。
- 佐々木寿夫君：南信にしては大雪の中林様、朱さんありがとうございます。
NHKの朝ドラ「風のハルカ」2 / 17、2 / 18の放送を観てください。
結納シーンがあります。
- 宮嶋逸雄君：米山奨学生朱海英さんを歓迎して。卓話期待しています。
カウンセラー林様御苦労様です。
- 伊藤清文君：米山奨学生朱海英さん岡谷エコーRCカウンセラー林太一様の来会を歓迎します。
- 森澤勝志君：米山奨学生朱海英さん飯田へようこそ「いらっしゃいませ」本日の卓話を楽しみにしています。(お子さんは元気ですか？)
- 穂苅修君：朱海英さんの来訪を歓迎して。卓話を楽しみに。
- 久保田久次君：米山奨学生朱海英さんよく来訪下さいました。卓話を楽しみに。
宮澤眞君：米山奨学生朱海英さんとカウンセラー林太一様を歓迎して！
- 久保田和彦君：朱海英さんの卓話楽しみに。
飯島正紀君：朱海英さんの卓話楽しみに。
久保田光一君：朱海英さんを歓迎して。
小池亮一君：朱海英さんを歓迎して。

委員会報告

青少年活動委員会 細川仁司君

2 / 5 (日)にインターアクト地区協議会が松本にて開催されました。下農がホストとしてりっぱに出来たと思いました。皆様には大変お世話になりありがとうございました。

親睦活動委員長 片桐信親君

新年会の件ですが、当日バスが飯田郵便局前から4時出発とりんごの里4時10分出発となっています。8時頃帰飯予定です。よろしくお願い致します。

雑誌委員長 伊藤篤君

- 2600地区の関係の記事が出ております。
- 横11ページ ロータリアンに聞きました「私達のすること、すべきこと」と題して記事が幾つか載っています。佐久コスモスRCの阿部真一さんの記事。
- 横30ページ 地区のたより。2600地区の木曾RC、松本南RC、長野西RCの活動の記事が載っております。当クラブも植樹をしていますので是非読んでみてください。
- 縦18ページ 友愛の広場...佐久コスモスRCの白鳥昭夫さんの記事「サザンクロスのかい」

オーストラリアのメルボルン国際大会に参加したロータリアンの中から自然発生的に出来た会。7夫婦14名の会で、国際大会への出席はご夫婦で！をモットーに出来たグループだそうです。

縦12ページ 「卓話の泉」上田西RC会員のボーイスカウトとガールスカウトの記事が載っています。

今月号は長野県に関わる記事がたくさん載っておりましてので全部紹介してみました。

例会変更のご案内

例会変更

ロータリー名	変更日	曜日	理由	メーク場所
飯田RC	2月15日	水	雪見例会	シルクホテル
飯田南RC	2月17日	金	雪見例会	マリエール飯田
天竜川RC	2月20日	月	IM参加振替	橋場
松川RC	2月23日	木	IM参加振替	松川商工会館
伊那中央RC	2月21日	火	上伊那IM参加	

本日の行事 『外部卓話』 米山奨学生 朱海英さん

カウンセラー岡谷エコロータリークラブ 林太一様

テーマ 『日本に来た理由』

『日本での留学の感想』

『落葉松(からまつ)の研究を選んだ理由』

皆さん、こんにちは、ご紹介させていただいた朱海英と申します。信州大学農学部森林科学科、博士課程3年生です。今日は、私のためにスピーチの時間をとって頂き、本当にありがとうございます。またご支援をいただき、大変お世話になっており、誠にありがとうございます。

今日、日本へ来る理由とカラマツ研究を選ぶ理由また留學生活の感じたことについてお話したいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず、日本へ来る理由についてお話をします。正直に言えば、日本へ来る前は日本があまり好きではありませんでした。それは過去に不幸な出来事が大きく影響していることは否めません。今の日本は「弱肉強食」の社会で弱者が疎外されています。また、島国根性で外国人を受け入れにくい国だと教えられてきたからです。大学卒業後、勤務先は日本と貿易関係の仕事でした。次第に日本語や日本文化に興味を持つようになってきました。気持はさらにエスカレートして、日本語の勉強と私の専門分野であり、世界のトップクラスにある日本林業を学びたいために日本に留学しようと決意したのです。

次に、カラマツ研究を選んだ理由についてお話をします。私は2000年から信州大学へ入り、2003年さらに専門分野を極めるため博士課程に入学しました。私の研究テーマはカラマツ林施業における生理、生態学の研究です。入学はじめ、先生に「土壌、ヒノキ、カラマツなどいくつか研究テーマがありますが、どんな研究したいですか。」と聞かれ、「カラマツの研究をしたいです。」と返事をしました。日本では、カラマツといえばヒノキやスギなどに比べると用材としては不向きのようなのですが、なぜ、私はカラマツの研究を選んだのか。その理由は、中国では90年代から木材の供給不足により成長の早いカラマツに注目されました。けれども、専門知識、技術などはまだ不十分です。日本ではカラマツ植林の研究や歴史も長く、技術や知識など世界トップの地位にあります。私が日本で勉強したことを中国の林業、特にカラマツ林業に生かしていきたいと思ったからです。

これから、日本へ来てから留學生活の感じたことについてお話をします。1999年11月、日本の空港を出て目に入った高速道路の素晴らしさ、サービスエリアの便利と交通ルールの守り、うねる山並みなどに驚きました。これらは私の故郷黒龍江省、また長く住んでいた北京との印象はかなり違いました。私の故郷には、私の小さいころ、家の周りには緑がいっぱいで、森林資源もたくさんあり、有名でしたが、今では、ほとんどの木が切れ、遠くに行っても森が見えないくらいになってしまいました。また、電車やスーパーがありませんのでとても不便です。大学から日本へ来る前8年間北京にいました。北京は日本のように生活は便利ですが、車での交通ルールを守らない人も多いのです。空気が汚れていて、一年中青空が見える日は数えるほどで、夜、外に出たら目が痛くなるくらいです。水も美味しくなく、水道の水も沸かさないと飲めないくらいです。日本へ来て信州での生活をしてきたら、故郷の感じでもなく、北京の感じでもなく、静かな環境、新鮮な空気、きれいな水、何よりも親切な人々に惹かれ、とても便利、過ごしやすいと思い、すぐ好きになりました。でも、物価の高さに驚き、私費留學生の生計を立てるのはなかなか大変でした。けれども、私に暖かい応援や励ましをしてくださって、見守ってきてくださったよい人ばかりに出会って、最大の精神的な支えになっております。国や親と離れて日本に来て苦勞をしてきた私にとって、辛い生活を経験したからこそ、今後どんな困難に遭っても、前向きに乗り越えることができると思っております。留學生活はとても貴重な体験であると感じております。

2003年博士課程になって勉強も一段と厳しく、アルバイトをする余裕も無くなり、生活はとても大変な状態となった時、2004年4月にロータリーの米山奨学金をいただける朗報が入ってきました。米山奨學生になり、経済面でも研究面でも恵まれました。奨学金をいただけるようになったことは、私費留學生生活から救われただけではなく、毎月の例会に参加させていただくようになり、ロータリアンの皆さんと知り合いになった事で、なによりも心強く、誇りを持って、精神的にプラスになったと思っております。初めての例会に行く前、ロータリアンの皆さんが各業界のエリートの方々ということもあり、とても緊張し不安でしたので、「どんな服がよろしいですか。」と林カウンセラーに聞きましたら、「どんな服でもいいですよ。気にしないでください」と優しく教えてくれました。例会に出席した時に、ロータリアンの皆さんは、本当に暖かく私を迎えてくださいました。不安が和らぎました。例会では、経済、自然環境、医学の話から音楽まで幅広い話題で、学校での研究以外の色々な日本の側面を知ることができました。また、毎回の夜間例会も参加させていただき、家庭的雰囲気とても楽しく過ごすことができました。ロータリアンの家族と交わる機会を得まして、日本の家庭を知り、皆さんとの心の触れ合いを通じて、国際文化交流および相互理解が深まりました。そして、クラブでは災害地、海外などに対する色々な支援活動を行うことから、ロータリーの社会奉仕、国際奉仕の精神を学ぶことができました。さらに、奨学金をいただけるおかげで以前時間がないため参加できなかった様々な交流活動に積極的に参加することができました。イベントに出たり、日本の小学生や年寄りと交流したりしました。茶道、着物教室などの見学、能や歌舞伎の鑑賞にも出掛けました。有意義な生活が送れるようになりました。この奨学金の価値をさらに深く実感するようになりました。私はこの奨学金をいただくたびにいろいろなことを考え、奨学金の重みを感じ、自分の責任感が自然に増してきました。この奨学金を大切にしなければなりません。もっと頑張らなければならないと自分に言い聞かせております。皆さんのご期待に添えますよう、恩返しができますように、現在では、博士の学位を目指しております。そして、日本と母国とを結ぶ懸け橋となって、国際交流活動へ積極的に参加し、異文化理解をより一層深め、頑張っていきたいと思っております。

さて、最近のことを話したいと思えます。卓話をこんなに遅くするのは昨年妊娠したからです。妊娠したことを宣告された時、大変驚き、どうすればいいかと悩んでいました。なぜならば、博士課程は最後となり、順調に卒業して、早く国へ帰って日本での学んだことを生

かしていきたいと思います。子供がほしいけど、今では子供を生むより博士号を修得することが先決と思っておりました。けれども、今年 34 歳となる私にとって、今回生まないと体によくないなどと病院の先生に言われました。いくら悩んでも、結論が出ませんでした。学校の先生は「卒業のことを考えないで、疲れないようにできる範囲まで頑張っ、来年 3 月博士号を取れたら嬉しいことで、無理の場合なら、終了して、国へ帰って育児しながら 1 年間のうちに論文を出せば、また、博士号を取れるから、今は体を大事にして、元気な赤ちゃんを産むことが一番大切だから。」と励まされました。ロータリアンの奥さん達と相談したら、「赤ちゃんは神様の授かりもので大切にしなきゃ、研究も頑張っ、大変だけど困難を乗り越えるのが人生ですよ。」と言われ、私の心にあったもやもやが晴れた気がしました。このような数々のアドバイスに言葉で表せないほど心より感謝しております。

日本の人々に支えられ、今まで頑張ってきました。日本での体験や日本人の優しさは、私にとって人生の宝物で生涯忘れることはできません。日本の皆さんがこんなに優しくしてくれることは、日本へ来る前の印象とかなり違いを感じました。私は帰国したら、日本での様々な出来事を中国の人々に伝え、微力ながら中日友好の懸け橋になりたいと思っております。

今日の話はこれで終わりしたいと思っております。これからも、皆様のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

ご静聴ありがとうございました。

ロータリー 3分間情報

ロータリーの歴史(7-1)

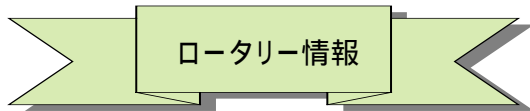
ロータリーの国際奉仕活発となる

1949 年は、日本のロータリークラブが R・I に復帰した年であります。1950 年の国際大会はデトロイトで開催され、Service above self と He profits most Who serves best の 2 つの標語が、ロータリーの公式標語に決定しました。この標語は何れも 1911 年のポートランド大会で提唱されたものであります。1952 年手島知健が日本人としては、米山梅吉、宮岡恒次郎に次いで 3 番目の国際ロータリー理事に選任されました。1954 年は、国際ロータリー創立 50 周年に当たりますので、ロータリー発生の地ボストンにおいて記念の大会が盛大に開催されました。R・I 会長はハーバー・テラーで、これより後は彼の発案になる『四つのテスト』の著作権が R・I に移譲されたことは既述の通りであります。1957 年、小林雅一が日本人として 4 番目の R・I 理事に選任され、R・I 第 1 副会長に選ばれました。1959 年、国際奉仕の文献『平和への七つの適』が R・I より刊行されました。

ロータリーが誕生してから 50 年の間に、2 回勃発した世界大戦の悲惨な衝撃は、指導的立場にある人々に、流血を訴えることなしに、国際問題を解決できる方法は何かないか、ということを実験的に模索する風潮が高まって来ました。1940 年代から 1950 年代におけるロータリーの活動は、国際問題に関わるものが頗る目につきます。

例えば、1942 年第 2 次世界大戦中のロンドンで開催されたロータリーの協議は、

折からロンドンにあった 21 ヶ国の教育担当大臣が参加して、戦争終結後の教育、文化交流の為に国際的組織を研究する必要があることが議題となりましたが、その後ここに集った人々によって、ユネスコを創設する計画が練り始められたといわれます。



ポール・ハリスをはじめとする 4 人が会合をもったのがロータリーの始まりですが、人が集まり組織ができれば、規則や理念が必要になります。初期のロータリーには細則も定款文書もありませんでしたが、シカゴのロータリアンがこのように書いています。「私たちは自分たちの規則を完全に理解した紳士協定を作成しようとした。会員は公開の会議で、口頭票で選ばれる。一票でも反対票があれば、入会できない」。最初の 16 クラブはシカゴ・クラブの定款と細則をそのまま採用していました

台北東海 R C とタイ・バンコクスリオン R C は日本語で例会が行われています。(機会があったらぜひメイクをしてみませんか)

P E T S 「ペッツ」は文字どおり Presidents-elect Training Seminar。地区内各クラブの会長エレクトのための研修・教育を行う情報提供プログラムです。毎年 3 月に、原則 1 日半の日程で行われ、主催者は、国際協議会で研修を済ませてきたガバナーエレクトです。P E T S も地区協議会も次年度クラブ会長になる人の参加が義務づけられ、出席しなければその人はクラブ会長に就任することができないとされています。